



各位

2020年7月31日

会社名 セーラー万年筆株式会社
 代表者名 代表取締役社長 比佐 泰
 (コード番号 7992 東証 第二部)
 問合せ先 取締役管理部長 米澤 章正
 (TEL 03-3846-2651)

2020年12月期第2四半期業績予想と実績との差異に関するお知らせ 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2020年2月14日に公表いたしました2020年12月期第2四半期(累計)業績予想と本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、2020年12月期通期業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

2020年12月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績値との差異(2020年1月1日～2020年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期 純利益	1株当たり 四半期 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,740	37	22	12	0.82
今回実績 (B)	2,240	△62	△75	△91	△6.26
増減額 (B-A)	△499	△99	△97	△103	—
増減率 (%)	△18.2	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2019年12月期第2四半期)	2,672	△0	△9	△10	△0.71

2020年12月期通期連結業績予想の修正(2020年1月1日～2020年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,700	75	45	25	1.71
今回修正予想 (B)	4,740	△80	△135	△155	△10.61
増減額 (B-A)	△960	△155	△180	△180	—
増減率 (%)	△16.8	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2019年12月期)	5,325	△21	△44	△139	△9.54

●業績予想と実績との差異並びに業績予想修正の理由

新型コロナウイルス感染拡大に伴う国内外での経済活動停滞の影響等により、第2四半期累計期間の売上高は、前年同期累計期間と比較して16.2%の減少となりました。

文具事業につきましては、2月以降、文具販売店休業などの影響を受けて、セグメント売上高は前年同四半期累計期間比20.4%減となりました。一方、ロボット機器事業につきましては、国内売上高は順調に推移し昨年同等の売上を確保できましたが、海外売上は新型コロナウイルス感染拡大の影響等により減少し、セグメント売上高は前年同四半期累計期間と比較して6.2%の減少となりました。

第3四半期以降につきましても、新型コロナウイルス感染拡大による経済活動への影響は国内外において継続するものと思われませんが、直近では売上減少に歯止めがかかってきており、第3四半期以降は徐々に回復していくものと予測しております。この予測を織り込み、2020年2月14日に公表しました通期業績予想を修正いたします。

以上